



### 新潟西警察署管内の交通事故の状況

| 年別  | 件数  |     |     | 死者  |     |    | 傷者  |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|
|     | 新潟市 | 黒埼町 | 計   | 新潟市 | 黒埼町 | 計  | 新潟市 | 黒埼町 | 計   |
| 57年 | 218 | 45  | 263 | 5   | 1   | 6  | 264 | 68  | 332 |
| 58年 | 363 | 119 | 482 | 6   | 2   | 8  | 422 | 145 | 567 |
| 59年 | 444 | 101 | 545 | 3   | 2   | 5  | 492 | 150 | 642 |
| 60年 | 425 | 97  | 522 | 10  | 1   | 11 | 489 | 105 | 591 |
| 61年 | 569 | 135 | 704 | 8   | 3   | 16 | 677 | 146 | 823 |
| 62年 | 262 | 71  | 333 | 0   | 1   | 1  | 293 | 89  | 382 |

※62年は7月末日までの数字

# 交通事故が増えている

## 76件起き傷者が99人死亡事故も(8月20日現在)

交通事故が増えています。八月二十日現在で黒埼町で七十六件の人身事故が発生し、傷者は九十九人、死亡事故が一件起きています。増加率も三月末の六三％を最高に毎月三〇％を超す勢いです。そのため六月末から「交通事故防止重点地域」に指定されています。警察や町、交通関係者はこれまで以上に交通安全対策に力を入れることを約束しています。しかし、それだけでは事故は減りません。町を取り巻く交通状況は決して楽観できるものではありません。新潟市の隣に位置し、国道が縦断し、インターがあります。年々増加する交通量……。事故をなくすには何ができるでしょうか。改めて考えてみましょう。

### 町は事故多発地帯

交通事故の状況をみてみましょう。まず新潟県全体です。七月末日で六千五百四十四件起き、七千九百九十一人が傷つき、百六人が亡くなっています。昨年よりそれぞれ四百六十七件、三百七十九人、十九人増えています。

県警では七月二十七日から八月末まで「非常事態」を発令しています。しかし、死者は八月二十四日まで百三十一人にのぼり、昨年より三十五人増え、事故増加率は三六・五％。これは全国のワーストワン(最悪)です。

黒埼町も例外ではありません。新潟西警察管内(黒埼町と関屋分水以西の新潟市)では、七月末で新潟市では二百六十二件と昨年の三百二十二件より大幅に減少したのに対し、黒埼町では六十六件から七十一件に増加しています。(詳

しくは二ページの表を)

西警の佐藤秀雄交通課長は「県も増えているが、黒埼町は何年も前から交通事故の多発地帯だ。国道8号線、インターなどがあり、新潟市への通過交通が多いという状況にある。しかし、事故のうち八割は町の人が起こしたり、関係したりしていることを忘れないでほしい」と話しています。

### 対策を実施しても

もちろん、警察や町、関係者が手をこまねいていたわけではありませぬ。これまでさまざまな対策を実施してきました。交通安全運動だけを取り上げても、四月から八月まで、よい子を守る交通安全防止運動、春の交通安全運動、ゴールデンウィーク交通安全防止運動、高校生の交通事故ゼロ百日運動、夏の交通事故防止運動を展開しました。特に四月二十日から五

月二十日までは「黒埼町の交通安全強化月間」と定め力を入れました。

西警察では交通安全ゲートポール、ミニバイク大会、ふれあい交通安全教室などを実施。交通指導隊の定期パトロール、交通安全母の会の街頭指導、安全協会の運転者講習会など。

町でも学校や自治会と協力した自転車乗り方教室やカーブミラー、ガードレール、道路の草取りなどに努めていますし、町道の歩道設置も進めています。町の交通安全対策費は七百四十万円ほどです。それでも減少しない交通事故に佐藤課長は「いろいろと手を尽くしてはいるのですが」となげき気味です。

### 県下ワースト5位

町の事故増加率は三月末で六三％(昨年十九件、今年三十一件)で

県下二万以上の市町のうちワースト五位になってしまいました。

増加率はその後低下したものの毎月三〇％ほどなため、県交通安全対策協議会から六月二十九日に黒埼町は「交通事故防止重点地域」に指定されました。この指定はほかに新潟市、上越市、村上市、糸魚川市、新井市、吉田町が受けています。

町では、いままです以上に交通安全に力を入れ、PR、パトロール、道路環境整備を進めています。しかし、町や警察、関係者だけで事故は減少しないのも事実です。西警察管内の人口は十四万五千人(黒埼町二万二千人)で免許人口は六万五千人(二万一千人)。これに対し警察官は百二十人ほど、指導隊や母の会などを含めても数百人です。

(四・五ページではどうすれば減るのかを考えてみます)。

## いま一度、交通安全を心がけて



佐藤 秀雄  
新潟西警察交通課長

皆さんのご家族、親類縁者、知人友人の中で交通事故に遭われたかたはいませんか。警察は事故防止に努めています。理由はいろいろあると思います。交通量が多い、道路が悪い、自分自身の運転ミス、交通ルールを守らなかった、ついっっかり…。被害者になるのも加害者になるのもだれでもない皆さん自身です。いま一度、交通安全を心がけてください。

### 交通違反

(新潟西警察、1月~7月末日)

〔検挙数〕

|              |      |
|--------------|------|
| 飲酒           | 123  |
| 無免許          | 20   |
| 速度違反(15キロ以上) | 1398 |
| 追越し          | 22   |
| 信号無視         | 187  |
| 一時停止違反       | 289  |
| 歩行者妨害        | 16   |
| 速度違反(15キロ未満) | 534  |
| 駐停車違反        | 542  |
| その他          | 1373 |
| 合計           | 4510 |
| 〔逮捕数〕        | 25   |
| (うち飲酒)       | 19   |



国道8号線。一時間の交通量が一千台を超える大動脈。大野大橋からインターまでの七月末日現在の事故数は人身が二十六件(町全体で七十一件)物損が九十四件(百九十四件)と事故の大動脈でもある。

秋の全国交通安全運動  
9月21日~30日

秋の道路笑顔と余裕のさわやか運転  
▼秋は夕暮れどきに事故が多発します。外出するときは明るい服装を心がけましょう。

▼今回の重点目標は①子供と高齢者の交通事故防止 ②無謀運転(飲酒、暴走、一時不停止)の追放 ③シートベルト・ヘルメット着用

### 運転者講習会

とき：九月二十四日(木)  
午後7時~9時  
ところ：中央公民館(役場隣)  
講師：新潟西警察・佐藤交通課長  
※詳しくは、役場総務課

特集/ただいま町は交通事故防止重点地域

